

## 第26回鈴鹿市文芸賞の受賞作品が決まりました

### ◆一般の部

(敬称略、同賞内順不同)

賞	ジャンル	氏名	作品名/作品
最優秀賞	小説	伊藤 久昭	アゲハ
	エッセイ	福田 かよ子	ある日
	アフォリズム	麦畑 羊一	「したたか」という言葉に ユーモアという調味料を入れると「ちゃっかり」という言葉になる
	詩	矢野 陽子	しわぶき
	短歌	舟越 幸子	地下鉄に乗る
	俳句	岡井 敬治	豊の秋
	川柳	小川 はつこ	幸せな人
優秀賞	小説	野間 信樹	白(しらとり)鳥
	エッセイ	樋口 祥巳	なまず
	アフォリズム	さいとう えい	子育てで一番疲れていた時期なのに、思い出すと一番あったかい気持ちになるのは何故だろう
	詩	堀川 孝子	揚げ雲雀
	短歌	稲垣 敏子	春の鈴鹿野
	俳句	浜西 修	流れ星
	川柳	澁谷 さくら	ありのまま

賞	ジャンル	氏名	作品名/作品
奨励賞	シナリオ	大橋 隆	演歌おやじの恋文
	小説	木村よし子	流れのままに
	エッセイ	小川 はつこ	秋水作戦と“ある計画”から
	アフォリズム	中山 美保	当り前の幸せは、当り前の日々が送れている時に実感しておくべきである。
	詩	西垣 みゆき	蛇
	短歌	城 本山	僧の草鞋
	短歌	樋口 陽介	夜
	俳句	仲見 たかし	椿明り
	俳句	澁谷 実	木星
	川柳	千野 力	秋色
川柳	池口 信乃	小三息子との日々	

### ◆ジュニアの部

(敬称略、同賞内順不同)

賞	ジャンル	氏名	作品名/作品
最優秀賞	作文・童話	杉本 滯	魔女の塔
	詩	植村 羽月	クモのきもち
	短歌	畑 乃愛	好きだよと言ったら君がふりむいた 笑ってごまかす初夏の夕暮れ
	俳句・川柳	岡井 和果	打ちこみにあせのしみこむじゅう道着
優秀賞	作文・童話	打田 卓朗	アナログワールド
	詩	吉田 桃菜	ちいさな小鳥
	短歌	加藤 真優奈	にじがでたみずたまりにもうつったよ おかあさんにもおしえてあげた
	俳句・川柳	湯浅 瑛介	なみの音ぼくといっしょにしんこきゅう
奨励賞	作文・童話	笠井 亜希子	ガラスねこ事件ないしょ作戦
	詩	林崎 絆	2つのにじ
	短歌	軸屋 咲里奈	あかいたまおそらのかごになげたけど はいらなかつたくやしかつたよ
	短歌	石田 歩暉	夏やすみカブトムシがねだっそうだ さがしていたらくつにいました
	短歌	水野 颯斗	ミニトマトおうちでいっぱいとれました みどりの子どもまだまだできてる
	短歌	桑原 響矢	ていでんだ家がまっ暗さびしいな くらやみの中しりとりしてた
	短歌	箕浦 亜弥	おぼんすぎとんぼがたくさんとんでるよ あきのきせつをつれてくるんだ
	短歌	アルファロモルガデスエリカ	ダンスしてフリフリふったよおしりをね はずかしかつたでもがんばった
	短歌	清水 駿	ぼんおどり兄ちゃん踊るライダーも 市長も踊るみんなで踊る
	短歌	山田 康生	つかみどり指の間をすりぬけて スイスイにげるアユの兄弟
短歌	西口 明里	赤とんぼ夕日めがけて飛んで行く 後すがたに「仲間達かな」	

賞	ジャンル	氏名	作品名/作品
奨励賞	短歌	栗山 千賀子	北海道縁で丸いマリモたち たくさんいるがだまりっぱなし
	短歌	成山 健太	友達と遊ぶ約束目標に がんばってやる宿題の山
	短歌	湯浅 瑛介	葉の色がどンドン変わりキレイだな あの葉は黄色この葉は赤だ
	短歌	吉田 彩乃	汗かいて負けずに走る私たち 花のような笑顔さかせる
	短歌	塩足 琳音	夏によくせみのぬけがらみつけます そのぬけがらをブローチにします
	短歌	矢田 陸人	にわたづみ流るる川を泳ぎけり 清き川水鯉涼しげに
	俳句・川柳	渡邊 翔希也	ハロウィンことしはなににばけようか
	俳句・川柳	井上 沙優	ふうりんがゆらゆらゆれるなつやすみ
	俳句・川柳	桐生 睦世	雨上がりあじさい光るにじしづく
	俳句・川柳	柏木 晴太	せみのうかラムネ色だよ夏の朝
	俳句・川柳	岡井 彩喜	ほじくれば飯の中から光るくり
	俳句・川柳	畑佐 香帆	彼岸花まっ赤な夕日と同じ色
	俳句・川柳	榮 菜月	七人の先生かわるりにん式
	俳句・川柳	笠井 亜希子	楓の葉赤い手ぶくろはいている
	俳句・川柳	須藤 環	しもおりて白いドレスを着る草木
	俳句・川柳	岡 奏汰	水たまりもみじがいっぱいあつまって
俳句・川柳	北川 朝陽	初日の出海につかって初げいこ	
俳句・川柳	平田 凧砂	きれいな 紅い紅葉に染まる獣道	